

小さな言の葉の本	T	N
	U	K



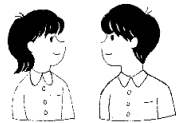
東直子 監修／リベラル社 編集／リベラル社／2022

「自分の気持ちを表すピッタリな言葉が見つからない…」「いつもありきたりな言葉ばかり…」なんてことはありませんか？この本には、日常でよく使う言葉の類語が、イラストや写真とともに約 500 語収録されています。その時の気になるページから開いてみてください。

わたしはわたし。あなたじゃない。	T	N
	U	K

鴻巣麻里香 著／リトルモア／2024

いつもがまんしていませんか？NO と言えない関係に悩むあなたにアドバイス。友達、家族、SNS…「そんなつもりじゃなかったのに」、「そんな言い方しなくても」こんなふうを感じたことはありませんか？お互いの心地のよい距離感を見つけて、自分の心を守っていこう。



苦手から始める作文教室	T	N
	U	K

津村記久子 著／筑摩書房／2022

作文が上手に書けないとき、ヒントはあなたの周りに落ちているかもしれません。特にテーマの決まっていない作文は難しく感じるかもしれませんが、コツを知っていればテーマや書き出しを決めやすくなります。書くことに苦手意識がある人に読んでもらいたい一冊です。



きみの声を聞かせて	T	N
	U	K

小手鞠るい 著／偕成社／2016 《小説》

失語症になってしまった葉香は孤独な生活を送っていたが、あるサイトに投稿されたアメリカに住む少年のピアノ演奏が気になり、メッセージを送ることに。葉香は詩、少年はピアノで文通を始める。異なった表現で気持ちを伝え合う二人はついに日本で会うことに…。



ティーンズ応援フェア 2025 スタートダッシュ ブックリスト

伝えることから始めてみよう



令和7年3月
編集・発行 上越市立高田図書館
上越市本城町8番30号
電話…025(523)2603
所蔵館…タイトル協のアルファベット
T…高田図書館 U…浦川原分館
N…直江津図書館 K…頸城分館

笹森くんのスカート	T	N
	U	K

神戸遥真 著／講談社／2022 《小説》

ジェンダーフリー制服を導入した高校で、夏休み明けにいきなりスカートで登校を始めた笹森くん。とまどうクラスメイトたちは、ストレートな言葉では聞きにくい。そして心の中で思う「なんで？」。
もし、あなたのクラスにこの笹森くんがいたらどう思う？どんな言葉をかける？

12歳から始める人見知りしない技術	T	N
	U	K

鳥谷朝代 著／秀和システム／2023

人見知りを乗り越えるための応援本。今から始められる小さな一歩を積み重ねていこう。「そんなに簡単じゃないよ。」って思ったあなた！ヒントはこの魔法の言葉「シタシキナカ」。それってどんな意味？
気になったあなたにぜひこの本をおすすめしたい。さようなら人見知り！



ダッシュ！	T	N
	U	K

五十嵐貴久 著／ポプラ社／2009 《小説》



4人組の主人公たちの憧れである先輩の菅野桃子、通称“ねーさん”はあるとき骨肉腫を患い手術をすることに。そんな先輩のある願いを叶えるため、4人はたくさんの困難にぶつかりながらもがむしゃらに突き進んでいく疾走感のあるストーリーです。

そのことばが降ってくる

T	N
U	K

高柳克弘 作／ポプラ社／2021《小説》



顔のほくろをからかわれたことで教室へ行けなくなり、保健室に登校していたソラ。たまたま保健室にいたハセオとの出会いがきっかけで俳句を始めることに。俳句、友情、心が化学反応を起こし、それまで抱えていた問題に向き合おうと努力するソラたちに注目です。

バイアスの心理学

T	N
U	K

池田まさみ 監修／ニュートンプレス／2024

みなさんの記憶や判断の偏り、すなわち考え方のクセを「認知バイアス」といいます。ふだん気にかけない自分の中の普通が、もしかしたら偏った考え方かもしれません。「ちょっと待てよ？」と自分の思考を振り返ってみることが相手との良い関係を保つために必要なことかもしれません。



2025

ティーンズ 応援フェア

あなたの不安を解消する方法が ここに書いてあります。

T	N
U	K

吉田尚記 著／河出書房新社／2020

中高生の時期は、勉強や進路・人間関係など、様々な不安があると思います。その不安の正体は「コミュニケーション」。まるでラジオのお悩み相談を聞いている感覚で、誰でも簡単にできる不安解消法を教えてください。

僕は上手にしゃべれない

T	N
U	K

椎野直弥 著／ポプラ社／2017《小説》

小学生の頃から吃音に悩む柏崎悠太は、中学の入学式の自己紹介で、教室から逃げ出してしまう。もやもやした気持ちの中、帰りに受け取ったある部活勧誘のチラシの言葉にひかれて…。

周りの人たちに助けられながら、成長していく悠太の物語です。



伝える技術はこうみがけ！

T	N
U	K

新庄秀規・藤山純久 著／中央公論新社／2021

その文章、相手にとって分かりやすいものでしょうか？そもそも分かりやすい文章とは？

若者向け新聞の記事を担当した著者らが、「分かりやすい」「面白い」「役に立つ」をつめこんだ、伝える技術を教えてください。レポートや就職活動で役立つこと間違いなし！

ハーベスト

T	N
U	K

花里真希 著／講談社／2023《小説》

コミュニケーションが苦手なもの同士が集まった3人だけの園芸部。花壇作りを通じてお互いの抱えている悩みを知り、いつしか歩み寄っていく姿に自分を重ねられる部分があるかもしれません。個性強めの3人が、素の自分でいられる大切な居場所を見つける物語。

ショートショートで ひらめく文章教室

T	N
U	K

田丸雅智 著／河出書房新社／2021

ショートショートとは「短くて不思議な物語」のこと。実は、身近なあるあるやことわざから、意外と簡単に書けるんです。また、ショートショートを書くことで文章力だけでなく、発想力や論理的思考力も身につくそう。少し違った角度から、いろんな力を伸ばしてみませんか？

手で見るぼくの世界は

T	N
U	K

樫崎茜 作／くもん出版／2022《小説》



視覚支援学校に通う佑と双葉。ある出来事を境に、双葉は目の見える「晴眼者」に恐怖を抱き不登校になってしまう。佑は一人で双葉に会いに行くために学校で白杖の練習に奮闘する。目に見えるものが全てではない、そんな世界の見え方を変えてくれる物語です。